

- ☆ 日本国憲法
- ☆ 法令・学習指導要領
- ☆ 道・市の教育行政方針
- ☆ 教育動向・社会の要請
- ★ 子ども・学校・保護者・地域の実態

保護者の願い

- ・ 学校生活の喜び
- ・ 健康な心身、社会性
- ・ 将来への期待、自立

留萌中校区 目指す15歳の姿

主体的に考え行動し、
前向きにねばり強く
挑戦する子ども

学校運営協議会の願い

学校と保護者、地域住民
が一体となった地域に開か
れた信頼される緑丘小学校

学校の教育目標



- ◆ 進んで学び、工夫する子ども
 - ◆ 心やさしく、元気な子ども
 - ◆ ねばり強く努力する子ども
 - ◆ 正しく判断し、責任を果たす子ども
- かしこい子
明るい子
がんばる子
正しい子

学校経営の基本方針

自律

自己決定できる場を
数多く設定する
⇒ 自己決定の積み重ねで
自己肯定感を高める

尊重

違いを理解し、他者を尊重する
⇒ 子どもと教師・子どもと
子ども・教師と保護者
教師と教師

協働

対話を通して納得解を見付け、
課題解決に向かう
⇒ 当事者意識の醸成
・ チャレンジ

目指す **みんなにとって
学校の姿 安心感のある学校**

今年度重点的に育成していく資質・能力

★ 聴く (Input) ★ 語る (Output) ★ 対話する (Communication)

重点課題1 学ぶ力の育成

Keyword : 学びのユニバーサルデザイン

- ① 学習課題やめあての明確化と学びの振り返りを大切にしたい問題解決的な学習の実施
- ② I O C のための様々なオプションを提示し U D L の視点で個別最適な学びの実現
- ③ 協働的な学びを取り入れた学習活動の展開
- ④ 学ぶ力 (学びの自己調整) の向上
- ⑤ 読書活動の充実と望ましい読書習慣の形成

重点課題2 豊かな心の育成

Keyword : 生徒指導の4つの視点

- ① 生徒指導4視点 (自己存在感・自己決定・共感的人間関係・安全安心) を生かした学級づくり
- ② 自分から進んで気持ちのよい挨拶や返事ができるよう指導を徹底 (緑小スタンダード)
- ③ 「考え、議論する道徳」の充実
- ④ いじめを許さない学校風土の醸成
- ⑤ 心を揺さぶる価値ある体験活動や異学年交流等を通し、コミュニケーション能力を伸長
- ⑥ レジリエンスを育む教育相談体制の充実

重点課題3 健やかな身体の育成

Keyword : 健康リテラシー

- ① 心身の健康づくりへの関心と健康な生活ができる能力や態度の育成 (ICTの活用)
- ② 自ら進んで運動に親しむ指導の充実
- ③ 体育の授業改善
- ④ 食育の充実
- ⑤ ICT端末使用に関する指導の徹底

今年度の重点目標

子どもを「主語」にした教育活動の推進

子ども・保護者・教職員のウェルビーイングの実現

知

徳

体

目指す教職員の姿

緑っ子のロールモデルとなる教職員を目指して!!!

- レジリエンス～取り巻く環境の変化を前向きに受け止める
- アクティブラーナー～自ら目標に向け常に学び続ける
- サポーター～一人一人の思いに寄り添い支援する伴走者

重点課題4 家庭・地域との連携・協働

Keyword : つながる・つなげる

- ① 学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) の活動の充実
- ② 保護者や地域と連携した子どもたちにとって安全・安心な環境づくり
- ③ 学校だよりやHP等による積極的な発信
- ④ 困っている児童 (家庭) に対する組織的な支援 (関係機関との連携)
- ⑤ 保護者の声を学校づくりに積極的に反映
- ⑥ 小中連携や指定事業を通じた情報交流の活性化

重点課題5 チーム緑小の進化

Keyword : 当事者意識と対話

- ① 日々の授業改善に直結する校内研修の活性化
- ② 全教職員で緑っ子を育てる意識の共有
- ③ G チーフ・サブチーフを中心とした自走型の組織運営の活性化
- ④ 時間外在校等時間の縮減に向けた校務の効率化・適正化 (働き方改革の推進)

学校スローガン 自分で決めて トライ!
みんなでもっと チャレンジ!

評価

検証・改善

児童

- ▶ 定期的な授業評価
- ▶ 学級目標・自己目標の評価
- ▶ 生活リズムチェック
- ▶ 児童アンケート etc.

保護者・地域

- ▶ 学級懇談・個人懇談週間
- ▶ 保護者アンケート
- ▶ 学校運営協議会
- ▶ 学校関係者評価 etc.

教職員

- ▶ 日々の指導の振り返り
- ▶ 学期ごとの振り返り
- ▶ 自己評価 (年2回)
- ▶ 行事反省 etc.